

キャラクター名 PH-12259(フェイ)	プレイヤー名
--------------------------	--------

シンドローム	ウロボロス キュマイラ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	小学生
オプション		年齢	9	性別	女の子
覚醒	素体	衝動	恐怖	初期侵食率	39%
出自	疎まれた子	経験	実験体	邂逅	借り

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	4	1	0			5	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	1	0	0			1	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:絵画.....?	1		知識:			情報:UGN	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
鉄壊丸	白兵	5r-1	6	14		壊れた時、侵蝕率3で破壊免れ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ:UGN幹部					
ウェポンケース					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	タス	消費
羅刹	P	N			
お父さん・お母さん	P 尽力	N 恐怖			
PH-121511(フィー)	P 尊敬	N 劣等感			
春日恭二	P 誠意	N 嫉妬			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
C:キュマイラ	2	2	メジャー					
効果:	C-Lv							
パワースイング	3	3	メジャー					
効果:	攻撃力+[Lv*3]、判定D-1							
原初の赤:ギガンティックモード	1	4	メジャー					
効果:	攻撃を範囲化、武器破壊							
原初の白:オーバーロード	1	3	オート					
効果:	命中直前 ダメージ+[武器の攻撃力]、武器破壊							
Uniqueltem:鉄壊丸	8							
効果:	おおきなごみ							
原初の紫:妖精の手	2	5						
効果:	出目一つを10に							
鋭敏感覚	★							
効果:	良く利く目鼻は、隠れた敵を効率よく見つけ出す。							
シャドウダイバー	★							
効果:	感情は読み取れる。それがどんな意味を持つかは、知らない。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

UGNチルドレンの少女。その中でもかなり幼い頃から活動してきた実績もあり、見た目以上に場慣れしている。

性格は天真爛漫な少女のように見えて、その実何も感じていない。
感情は名前しか知らないようなものばかりで、ニコニコした表情は「せめてへらへら笑っていれば、不快さもまだマシだ」言葉をそのまま鵜呑みにした結果の産物。

その生涯からの一切をUGNに管理されている、所謂デザイナーズチルドレン。
その中でも全員が制御できない程の力を持たされた「タイラントシリーズ」の一体で、試作品兼失敗作。
怪力の出力抑制が利かず、日常生活を送るにもドラッグを常用しなければならない惨状。
そのため基本はUGNの完全管理下にあり、前線にガシガシ送り込まれる鉄砲玉めいた起用をされている。現在は「武器が破壊すると、使用者のレネグイドウィルスを用意的に暴走させ、その力を吸収して修復する」と、これまた試作品武器の実験台を兼ねている。武器を振るう度に壊してくれるテストベッド等そういないため、その点でだけ重用されている。
また、「タイラントシリーズ」の中でも成功作と目されている少年を慕っており、人稱等も少年のものをマネしている内に、喋り口はすこし男の子っぽくなってしまっている。ただ、彼がとある一件から「感情」の一端を手に入れてから、彼の言う感情に少しだけ興味を持つようになる。

また、先日のFHとの交戦中、誤って戦闘区域が大きく移動し市街地に食い込んだ際、FH側のエージェントである春日恭二が悪態と共に、ワーディングに当てられた一般人をエフェクトの余波から庇っているのを見て、敵の在り方に疑問を持つようになる。
それまでUGNの指導として「FHは絶対悪」「ジャム殺すべし慈悲は無い」「我々は日常の守護者であり、日常を守るための犠牲を厭うな」が合言葉であっただけに、目前の光景は、彼女にはひどく異質に映った。
それから、春日を作戦中に見かけると、その時のことを聞いてみようと思いついて追いかけてまわすようになったのである。
なお、フツに交戦しないとお話聞いてくれないことは知っているの、春日から見たらどんな時でも問答無用で殴り掛かってくる恐怖の幼女であろうことは想像に難くない。